

南海トラフ地震に関連する情報（臨時）発表時の対応

平成29年11月1日から、南海トラフ全域で地震発生の可能性を評価した結果を伝える「南海トラフ地震に関連する情報」（資料1）の運用が開始され、これにともない、東海地震のみに着目した「東海地震に関連する情報」の発表は行われていません。

そこで、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）発表時の対応」については、国において南海トラフ地震に対する新たな防災対応が定められるまでの当面の間、「東海地震に関連する情報発表時の対応—東海地震に関連する調査情報（臨時）」（資料2）を準用します。

については、下記及び「生徒手帳」21ページ、気象庁ホームページ（資料3）などを参照しながら、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が伝えられた時にどのような行動をとるのかなどについて、日ごろから家庭でよく話し合っておいてください。

資料1 南海トラフ地震に関連する情報

情報の種類	情報の発表条件
南海トラフ地震に関連する情報（臨時）	南海トラフ沿いで異常な現象（想定震源域内でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合など）が観測され、その現象が南海トラフ地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合など
南海トラフ地震に関連する情報（定例）	「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合において評価した調査結果を発表する場合
※ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、本情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。	

資料2 東海地震に関連する情報発表時の対応

情報名	時間帯	学校の対応	生徒の行動
【準用】 東海地震に関連する調査情報（臨時）	始業～終業	情報収集 授業継続	平時と同様。
	始業前 終業後	情報収集	
〔参考〕 東海地震注意情報 または 東海地震予知情報	始業～終業	授業打ち切り 休校	教職員の指示に従って安全に心がけて帰宅する。
	始業前 終業後	休校	自宅で待機する（各自治体の指示に従って行動する）。
	登下校時	休校	安全に心がけて帰宅する。
〔参考〕 地震が発生した場合	始業～終業	避難誘導 授業打ち切り・休校	避難訓練の要領でグラウンドに避難した後、帰宅が可能であれば安全に心がけて帰宅する。帰宅が不可能であれば本校に避難する（※本校は避難所に指定されている）。
	登下校時	休校	帰宅が可能であれば安全に心がけて速やかに帰宅する。帰宅が不可能であれば通学路途中の最寄りの避難所、または本校が近い場合は本校に避難する。